

市民の方からのお問い合わせから

☆桃太郎大通りの石畳はどうなったの？

「桃太郎大通りの歩道から石畳が消えたのはどうして？」と、ある冊子を読んで、お問い合わせがありました。桃太郎大通りが県管理の頃、街のシンボルロードとして整備され、政令市移行で岡山市に移管されました。石畳の老朽化などに伴うメンテナンスには苦慮をしていたとのこと。自転車道整備にあたって県にも相談をし、①強度があり、②滑りにくく、③地震に強いブロックに変え、歩道と自転車道の視覚分離を行ってきているとのこと。石畳は特別なものという認識があり、他に使い道を探ったそうですが応じるどころはなく、資材置き場に保管されています。あとはシンフォニーホール前辺りの整備を残すのみです。歴史が刻まれた石畳には確かに情緒を感じますが、皆さまは、どう思われますか。



こんな防災グッズ／防災ずきん

「防災頭巾」は、小学校入学時に準備をして、普段は教室でクッションに、災害のときには頭を守るための防災頭巾に、体育館に避難をしたら座布団になります。



関東圏の多くの皆さんには当たり前の防災グッズで、岡山市に避難・移住してきたときには、なくて驚いたという声をお聞きしています。市民の方からの提案です。確かに優れたものですね。

編集後記 ★言葉を大切に

にする横田えつこさんは、詩人のアーサー・ビナードさんが大好きで、よく岡山に招かれていました。お二人とも好奇心旺盛で、どんな年代の人とも同じ目の高さで言葉を交わされる。深刻な社会状況の本質を軽妙な話術で面白く話されるので、つい引き込まれてしまう。真実と真摯に向き合う努力を常にされているので、できることだと思います。



☆横田さんが昇天されて丸3年の記念会を、10月30日に事務所で行いました。横田さんからいただいた糧を生かしていきます (Oniki)。

※鬼木のぞみの活動日誌は、ブログ・フェイスブックをご覧ください。 http://yaplog.jp/niji_oni/ 携帯でもどうぞ。

のぞみ日誌から

岡山リベッツ観戦

2018年にスタートした卓球のTリーグ。なんと参加チームの一つが地元「岡山リベッツ」です。さっそく岡山武道館での試合観戦に(11.17)。会場がきれいに变身したなか、緊張感ある接戦が続きました。応援します。

きたながせスープ

操車場跡地が、自由遊び、健康体操、マルシェ、芋掘り&焼き芋、べっこう飴作りなどの広場になりました。「操車場跡地にできる新公園を活用する会」主催です。具体的に取り組むなかで、新公園にどう市民が関わっていくのかというイメージが膨らみますね。私は「子どもチーム」の焼き芋担当でした(11.23)。



合唱・ぐるーんエンジェルス

「日本子ども虐待防止学会学術集会おかやま大会前夜祭」で、ぐるーんエンゼルのメンバーの一人に。悠々ホルンライブとのコラボです。アカペラやピアノ生演奏で歌うのは、実は初体験。ラストの手話入り『君は愛されるために生まれた』の時には感極まりました(11.29)。



「つしまみんな食堂」(仮) プレオープン

報恩積善会(養護老人ホーム)による「つしまみんな食堂」(仮)がプレオープンしました。とても嬉しかったです。「みんなで作ろう!食べよう!つながろう!」という素晴らしいテーマのもと、小さな子どもさんから人生の大先輩までの参加で賑やかな時間でした(12.27)。

自転車マナー向上協働行動

自転車交通量が多い岡山大学入口交差点で行われました(1.15)。京山地区ESD推進協議会の地域の絆プロジェクト「やさしく走ろう京山」運動の取り組みです。御野学区の皆さんや岡山大学・岡山市・岡山県警などとの協働行動。この間、自転車道などハード面での改善もありました。絆プロジェクトは、この度の「おかやま協働のまちづくり賞」で「入賞」をいただきました^^。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.47

2018年11月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2019年1月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



だれも孤立させない。安心と希望のまちに ～子ども目線はどんな人にもやさしい～

子どもの笑顔が大好きです。2019年、「だれも孤立させない。安心と希望のまち」をめざします。

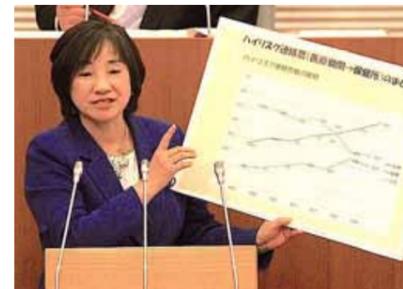
7月西日本豪雨。ママと小さな子ども3人だった私の友人は、いち早く子どもを車に乗せて、立体駐車場の上階に避難をしました。ハンディキャップのある子どもと一緒に、民間の避難所に向かったママもいます。必死だったと思います。子育て視点での災害の検証も必要です。



孤立させない。産後ケア事業の前進を

私のテーマの一つは、「切れ目のない子育て支援」です。11月議会では、産後ケアについてとりあげました。

岡山市では乳幼児世帯の約85%が核家族です。母親の10人に1人が育児への不安や重圧によって産後うつになると言われ、育児放棄などの虐待や、自殺を招くおそれがあります。



岡山市はハイリスクの妊婦・産婦・小

児について、医療機関から保健所に連絡票が届く仕組みです。ハイリスク産婦は、2011年の133人から2017年には317人へと増加しています。

厚労省は産後2週間と1カ月の産婦検診助成を始めています。また、産後ケア事業にも助成し、倉敷市では、宿泊ケアと日帰りケアに取り組んでいます。岡山市でもぜひ行ってほしいと質問をしました。安心した子育てにつながるよう、検討を進めたいとのことでした(2019年度当初予算要求がありました。嬉しかったです)。

議員提案で「子どもを虐待から守る条例」制定

11月議会では、「子どもを虐待から守る条例」が議員提案で制定され、2019年4月1日に施行します。東京都目黒区での児童虐待事件は大きな衝撃を与えましたが、全国的に虐待件数は増え続けています。全会派によるワーキングチームで検討され、包括的な取り組みを定めました。子どもを守り、子育て世帯を孤立させない取り組みを進めたいです。

子ども目線は、親子や家族のこと、そして地域のことに広がり、どんな人にも優しいまちづくりにつながります。

おにき・のぞみ 

*被災された皆さまには困っておられることなどご連絡ください。今回の災害に対してもご意見もお寄せください。

*「浅田裁判」が高裁でも勝利判決。11月議会最終日に、市長は上告をしないと表明し、判決が確定しました（嬉）。24時間介護が必要な重度障がい者の浅田さん。65歳になって介護保険を申請しなかった浅田さんに、岡山市はすべての障がい者サービスを打ち切りました。浅田さんは岡山市を提訴していました。

岡山市が「防災証明」を交付した被災者世帯を対象に訪問を行い、各種支援制度の申請もれをふせぐ、「取り残しの被災者生活支援」の予算が組まれました。

11月議会 個人質問から

質問項目

1. 西日本豪雨災害
2. 産後ケア
3. 多文化共生社会推進プラン改訂
4. 芸術創造劇場（仮称）管理運営実施計画
5. 新斎場



11月議会。市民の皆さんの声と行動が反映され、幼小中学校へのエアコン設置予算がつかしました。中学校の普通教室と幼稚園の遊戯室などは2019年夏までに、小学校の普通教室は2020年夏までにです。☆心身障害者医療費助成の対象を精神障害者まで拡大する陳情が通り、大森市長も意見表明をしました。長年、願っていましたので嬉しかったです。☆9月議会に続き豪雨災害対応議会でした。市民に寄り添う市政が求められます。

西日本豪雨災害

浸水被害解消に力をいれたい

笹ヶ瀬川西側が広い範囲で浸水被害を受けたことに対し、市は今保排水区に設置する大型ポンプ場2カ所の場所の方向性を示しました。2022年に完成予定です。これで、床上浸水をほぼ解消。床下浸水の9割以上を解消するという、大きな効果が期待されるとのことです。



津島・横井排水区は、現地調査をした上で具体的な整備方針が決められます。他の地域も検討が必要です。

なお、町内会に貸与する可搬式ポンプの追加配備予算（4区×2台）が付き、希望状況を町内会に確認中です。

避難所／小中学校校舎の使用

市内で7つの小・中学校の校舎（体育館でなく）が避難所として使用されまし

た。一方、市民の希望があっても使用できなかった場合があると聞いています。

垂直移動（校舎利用）が必要な場合は、「災害対策本部が判断→教育委員会→校長に連絡」という流れです。災害に応じて、校舎についても柔軟に使用ができるよう、学校施設利用計画での手順整備などの協議が行われています。

身近な自主避難所

開設された指定避難所が遠かったり、経路が危険だったりして、行くことができなかったというご指摘が多いです。岡山市は、これから作成する小学校区ごとのハザードマップを活用し、避難経路等を含めた避難場所を各地域で検討していただくことを考えています。

自主避難所での避難者の状況を市が把握した場合は、食料などの物資を必要に応じて搬送するとのこと。私たちも避難グッズとして備えておきましょう。



大塚愛・岡山県議といっしょに、「県政・市政お話し会」を各地の公民館でもち、災害についての声を聞いています。

岡山芸術創造劇場（仮称）

2022年度に開館予定です。約235億円かける重大な事業ですから、「推進準備室」を置いて、丁寧に進めるべきです。「管理運営実施計画（素案）」における施設利用料は、例えば、土日の大ホールで現市民会館の18万6,500円が33万6,700円と負担増です。その上、大ホール中ホールとも利用者が市内・市外では利用料金設定の違いを設けない（現行では設けている）、また市民文化ホール利用料にあった減免も基本的に設けません。これまで施設利用をしてきた芸術文化団体には大きな負担増です。

この施設は、稼働率の高い岡山市市民会館・市民文化ホールの代替施設でもあります。施設利用の芸術文化団体等とも運営について話し合い、適切な料金制度にするべきです。



現段階のイメージ図（市長記者会見資料より。2018.10.29）

土砂災害について 一半田山（津島福居北）

7月7日に、我が家（津島福居）のすぐ北にある半田山の東側と西側（写真）で大きな土砂災害が起きました。応急復旧工事が終わるまで、雨が降るたびに不安な時間を過ごしました。その後の様子をお伝えします。

町内会説明会 10月29日に、半田山の所有者である岡山大学から津島福居町内会の皆さんへの説明会がありました。会場は満席でした。岡山大学からも関係者が多数参加され、誠実に説明をしてくださいました。以下、説明会等より。



なぜ土砂災害が起きたのか

7月4日～7日の合計降水量は335.5mm。岡山市の6月7月を合わせた平均降水量は332.4mmなので、短期間に梅雨期の全降水量に相当する豪雨が発生し、土壌の保水能力の限界をこえ、土砂災害が発生したと推定される。土質は粘土質とのこと。

復旧工事 応急復旧工事は、説明会の時点で東側は終わっており、西側も年内に

国の規制緩和で脅かされる暮らしの安心 自治体の姿勢が問われます

*水道事業は公営で

生命の源である水道事業を民間に譲渡できるように水道法が改悪されました。

大森市長は議会質問に、「携わる水道局職員は、経験もノウハウも有している。少なくとも当分の間は、民営化をせずに今のままでいくのかなと思う」と答弁しました。

外国では、民営化によって値上げや水質の問題がおき、再公営化が行われているところがあります。美味しく安全な岡山の水を守りたい。「当分の間」ではなく、ずっと公営で行いましょう。

*外国人労働者は部品ではありません

数多くの人権侵害報告がある技能実習制度を拡大し、在留資格に「特定技能」をつくり、出入国管理法が改悪されました。岡山市は私の質問に「生活者として受け入れる環境を整備する」と答弁。

「外国人集住都市会議」（総社市も加入）は、国に「外国人施策を総合的に担い、推進する組織の設置」を望み、「地域における生活者であるということが十分に認識されない中で、中長期的な共生施策を伴わない受け入れ拡大は、地域社会に大きな混乱を招く」と意見書を出しました。

終了しました。合わせて、本復旧に向けての地質調査などが行われ、復旧工法の選定・設計を行い、来年度より災害復旧工事を実施する予定とのこと。

質問と要望 幾つかの質問や要望が岡山大学にだされ、12月10日付でその回答が回覧されました。関係する側溝や排水路の土砂などは撤去されました。また、災害時における避難場所の提供についても、岡山市と協定締結にむけて協議を進めているところです。工法などが決まったら、説明会を開いていただける予定です。

本市営住宅。平成30年度第3回募集（H31・175・1・12受付）から、連帯保証人と敷金が不要になりました。要望や不安からのご相談もありました。よかったです。